

平成24年度予算は
市民一人当り※
81万5,115円

国保などの特別会計を含めて算出しています
 ※51,682人(1月末日現在)で計算しています

特別会計について

■ **特別会計**
128億円
 (増減率 +7.2%)

(内 訳)

- ・ 国民健康保険事業特別会計
 92億円
 (増減率 +0.3%)
- ・ 簡易水道事業特別会計
 22億円
 (増減率 +55.9%)
- ・ 下水道事業特別会計
 8億円
 (増減率 +2.5%)
- ・ 後期高齢者医療事業特別会計
 6億円
 (増減率 +7.1%)

■ **水道事業会計**
2億円
 (増減率 +1.7%)

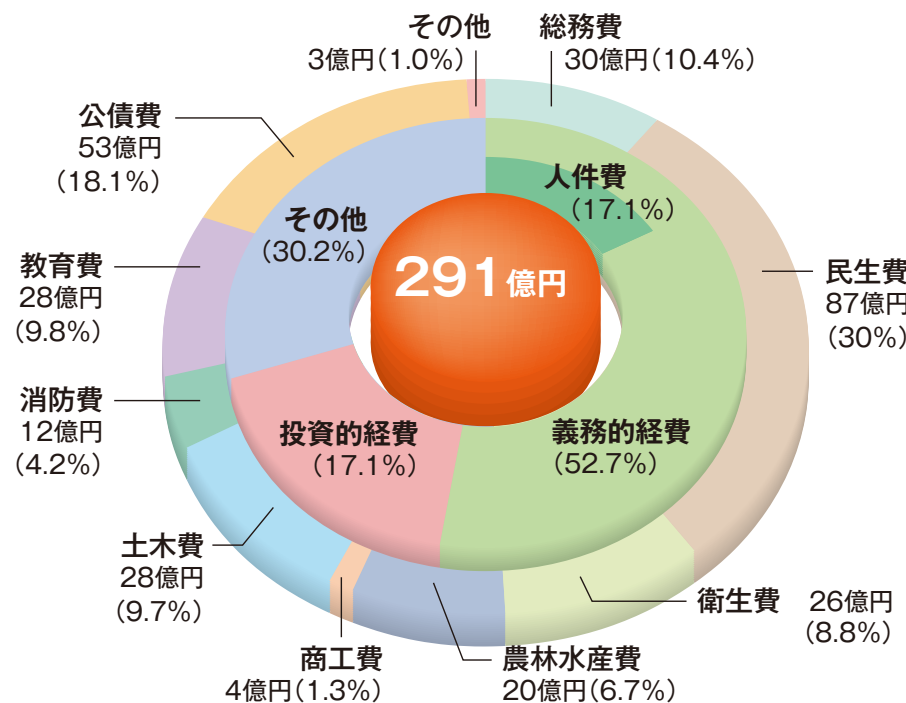
用語の説明

特別会計
 特定の事業を行うために特定の収入をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計

水道事業会計
 水道事業から得られる収入で浄水や給水などの費用を扱う独立採算制の企業会計

一般会計 291億円 (前年比11億円増)

歳 出



義務的経費 職員の給与、借金の返済や赤ちゃんからお年寄りまでの福祉にかかる経費など、その支出が義務づけられているお金

投資的経費 道路や施設のように、将来に形を残すものに使うお金

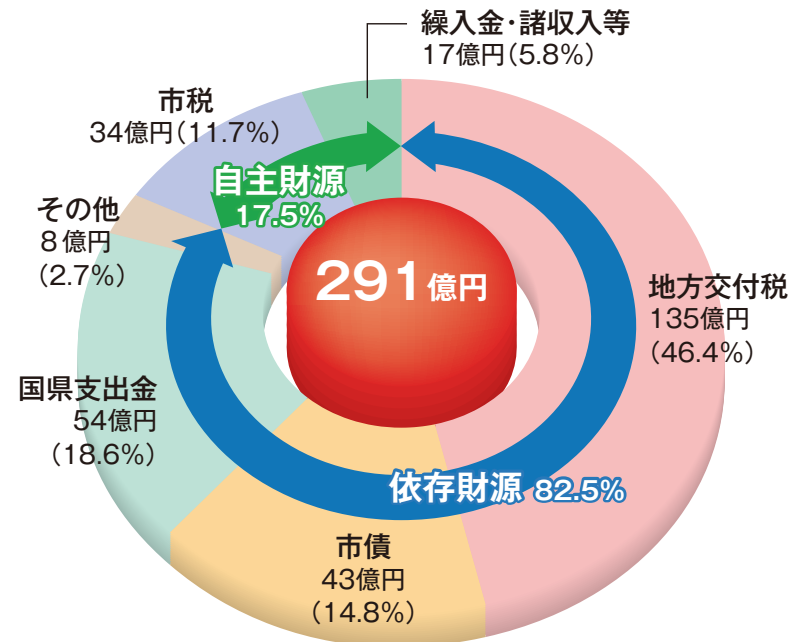
用語の説明

総 務 費…… 税務、戸籍、選挙事務など
 民 生 費…… 赤ちゃんから高齢者までの福祉、障害者福祉や生活保護など
 衛 生 費…… 各種健康診断や予防対策、ごみ処理など
 農林水産費…… 農林水産振興、ほ場整備や漁港整備など
 商 工 費…… 企業誘致や商工振興、観光振興など
 土 木 費…… 道路や公園、公営住宅の整備など
 消 防 費…… 火災、救急、風水害など
 教 育 費…… 幼稚園や小中学校教育、生涯学習やスポーツ振興など
 公 債 費…… 市の借入金の返済
 そ の 他…… 議会費、労働費、災害復旧費、予備費

平成24年度 主な新規事業

「産業振興」に資する事業	「観光活性化」に資する事業
地域経済の活性化と将来の財政基盤の強化を図るための事業	市の地域資源を活用した観光客の誘客を図るための事業
○そうめんPRイベント開催事業……683万円	○口之津港開港450年記念事業補助金…5,000万円
○水産関係施設整備事業補助金……123万円	○加津佐前浜周辺整備事業……396万円
○道路改良事業 新規18路線(再掲)…3億1,500万円	○農林漁業体験民泊施設及びどぶろく製造施設整備事業補助金……1,666万円
○国道251号線バイパス設計事業(再掲)…400万円	○ふるさと体験ツアー(再掲)……293万円

歳 入



自主財源 市が独自で確保できるお金

依存財源 国・県が配分するお金や、借り入れて確保するお金

用語の説明

市 税……… 市民税、固定資産税、軽自動車税など
 繰入金・諸収入等… 繰入金、使用料、分担金および負担金、諸収入、財産収入、寄附金、繰越金
 地方交付税……… 地方自治体が全国水準の行政を行えるように交付されるもの
 市 債……… 国・県や金融機関から借り入れる借金
 国県支出金……… 国・県が認める事業費に対し、国、県から交付されるもの
 そ の 他……… 地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金、利子割交付金、配当割交付金 など

いつも市民がど真ん中!! 『人が元気になる』『産業が元気になる』『まちが元気になる』『市役所が元気になる』

「防災対策」に資する事業	「市民生活の基盤整備」に資する事業	「人材育成」に資する事業
東日本大震災の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進する事業	市民が住み慣れた地域で安心して生活を送るための事業	個性ある教育や、人づくりなどに重点を置いた事業
○被災者支援システム構築事業……246万円	○すこやか子育て支援事業……335万円	○家庭教育力向上事業……254万円
○自主防災組織活動支援事業……200万円	○道路改良事業 新規18路線…3億1,500万円	○図書室整備事業……5,601万円
	○国道251号線バイパス設計事業…400万円	○長崎県東京事務所職員派遣事業……83万円
		○ふるさと体験ツアー(市内小学生対象)…293万円

平成24年度
**南島原市の
 当初予算**

当初予算編成の基本的な考え方

平成24年度当初予算では、「南島原市総合計画」が目指す将来像実現に向け、「いつも市民がど真ん中!」を基本理念として、「重点プロジェクト」への重点化を行っています。これに加え、今回、「人材育成」「市民生活の基盤整備」「防災対策」「観光活性化」「産業振興」に資する5つの事業を重要施策の柱として位置付け、必要な予算を拡充措置しました。

平成24年度の一般会計当初予算は291億4,289万6千円で平成23年度と比較すると10億6,344万円の増となっています。

経常的な経費については、「カイゼンピック」による職員提案の予算への反映、「ゼロ予算事業」の積極的な推進、人件費の抑制および徹底した事務事業の見直しを行うとともに、引き続き、経費の削減に取り組めます。